

エチレンセンター 11社の収益状況について (平成22年度上期)

平成22年12月24日
製造産業局化学課

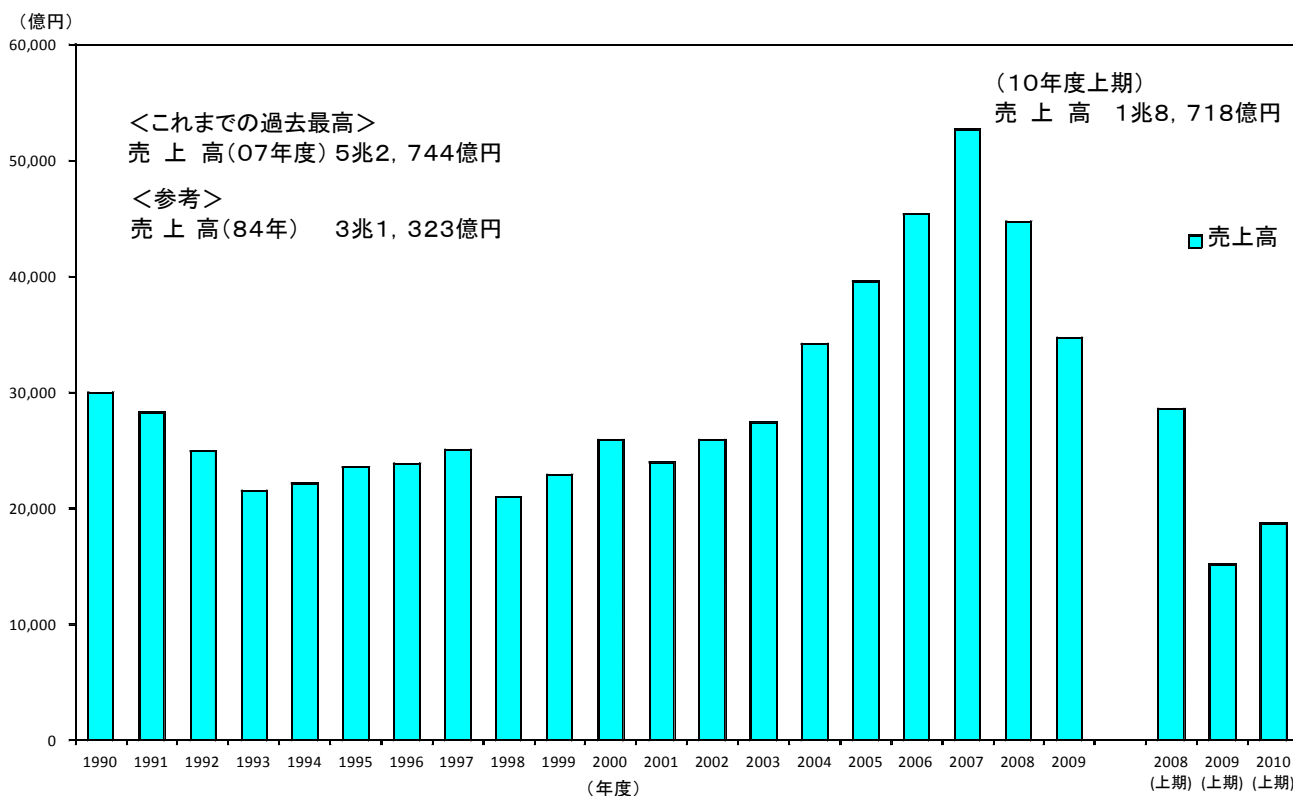
平成22年度上期のエチレンセンター11社の石油化学部門の収益状況について、売上高は、自動車や家電などの国内需要の回復から増加。経常利益は、市況の回復を受けた石油化学製品の増産及び販売数量の増加などにより大幅に増益となった。

(売上高) 1兆8,718億円 (対前年同期比23.2%増)

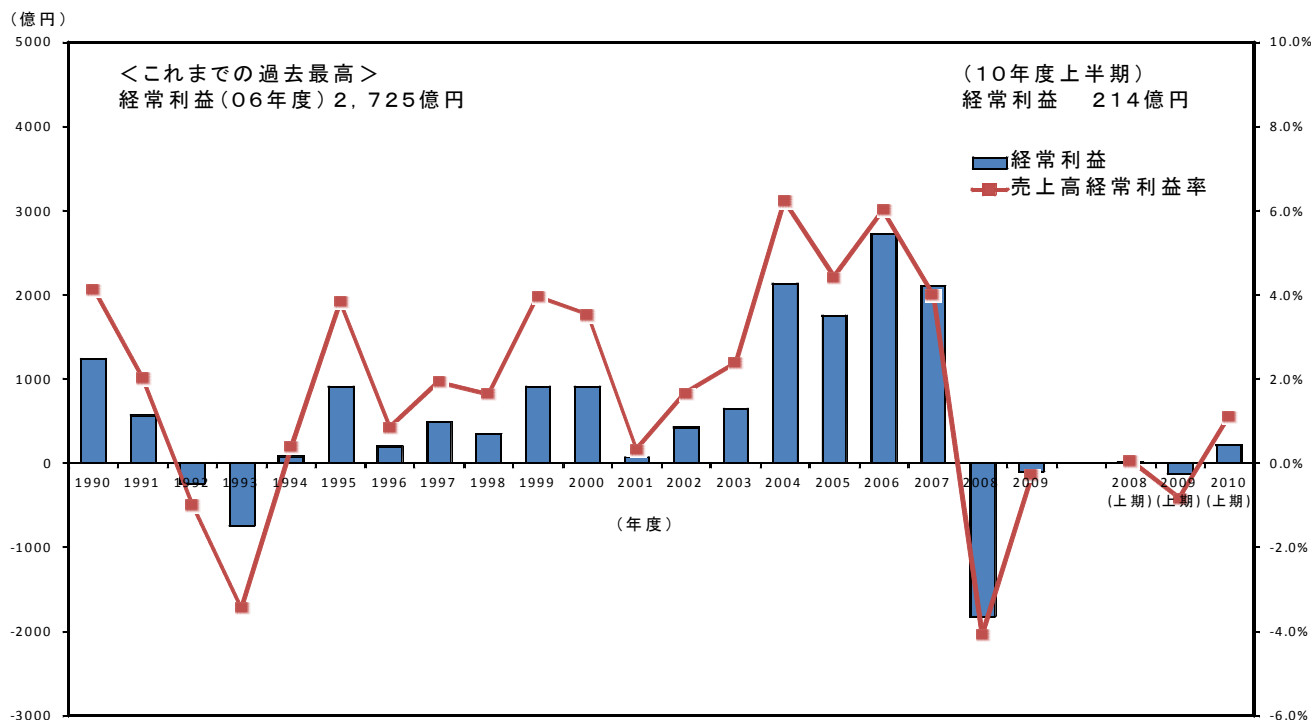
(経常利益) 214億円 (対前年同期比342億円増)

(売上高経常利益率) 1.1% (対前年同期比1.9ポイントの増)

エチレンセンター11社の石油化学部門の売上高推移 (単独ベース)



エチレンセンター 11社の石油化学部門の経常利益推移（単独ベース）



エチレンセンター 11社の石油化学部門の収益推移（単独ベース）

（単位：億円）

年度		18	19	20	21	21上期 (参考)	22上期
石油 化学 部門	売上高 [億円] (前年同期比:%)	45,365 (+14.5)	52,744 (+16.3)	44,696 (-15.3)	34,694 (-22.4)	15,199 (-46.9)	18,718 (+23.2)
	営業利益 [億円] (前年同期比:%)	2,455 (+38.7)	1,900 (-22.6)	-2,015 —	3 —	-48 —	168 —
	経常利益 [億円] (前年同期比:%)	2,725 (+55.4)	2,108 (-22.6)	-1,825 —	-94 —	-128 —	214 —
	売上高経常利益率 (%)	6.0	4.0	-4.1	-0.3	-0.8	1.1
全 社	売上高 [億円] (前年同期比:%)	61,927 (+12.7)	69,530 (+12.3)	59,991 (-13.7)	48,624 (-18.9)	21,733 (-41.5)	26,527 (+22.1)
	営業利益 [億円] (前年同期比:%)	3,448 (+34.8)	2,298 (-33.3)	-2,111 —	-298 —	-504 —	385 —
	経常利益 [億円] (前年同期比:%)	4,059 (+50.7)	2,721 (-33.0)	-1,590 —	-27 —	-424 —	503 —
	売上高経常利益率 (%)	6.6	3.9	-2.7	-0.1	-2.0	1.9

（平成22年度集計対象）

出光興産（株）＜石油化学部門＞、大阪石油化学（株）、山陽石油化学（株）昭和電工（株）、JX日鉱日石エネルギー（株）＜石油化学部門＞、住友化学（株）、東ソー（株）、東燃化学（株）、丸善石油化学（株）、三井化学（株）、三菱化学（株）

【参考】

エチレンセンターの石油化学部門の収益推移（連結ベース）

（単位：億円）

年度		18	19	20	21	21上期 （参考）	22上期
石油 化学 部門	売上高 [億円] （前年同期比：%）	63,184 (+14.5)	72,364 (+14.5)	66,426 (-8.2)	52,056 (-21.6)	23,374 (-41.7)	31,606 (+35.2)
	営業利益 [億円] （前年同期比：%）	3,856 (+30.9)	2,973 (-22.9)	-2,034 —	338 —	-227 —	1,339 —
	売上高営業利益率（%）	6.1	4.1	-3.1	0.6	-1.0	4.1

注）連結対象会社の変更等があるので、前年度と単純な比較はできない。

（平成22年度集計対象）

旭化成（株）＜ケミカル部門＞、出光興産（株）＜石油化学製品部門＞、昭和電工（株）＜石油化学部門＞、JX日鉱日石エネルギー（株）＜石油化学製品部門＞、住友化学（株）＜石油化学部門＞、東ソー（株）＜石油化学部門＞、東燃ゼネラル（株）＜石油化学製品部門＞、丸善石油化学（株）＜単独の数値＞、三井化学（株）＜基礎化学品、機能材料部門＞、三菱化学（株）＜ケミカルズ、ポリマーズ＞